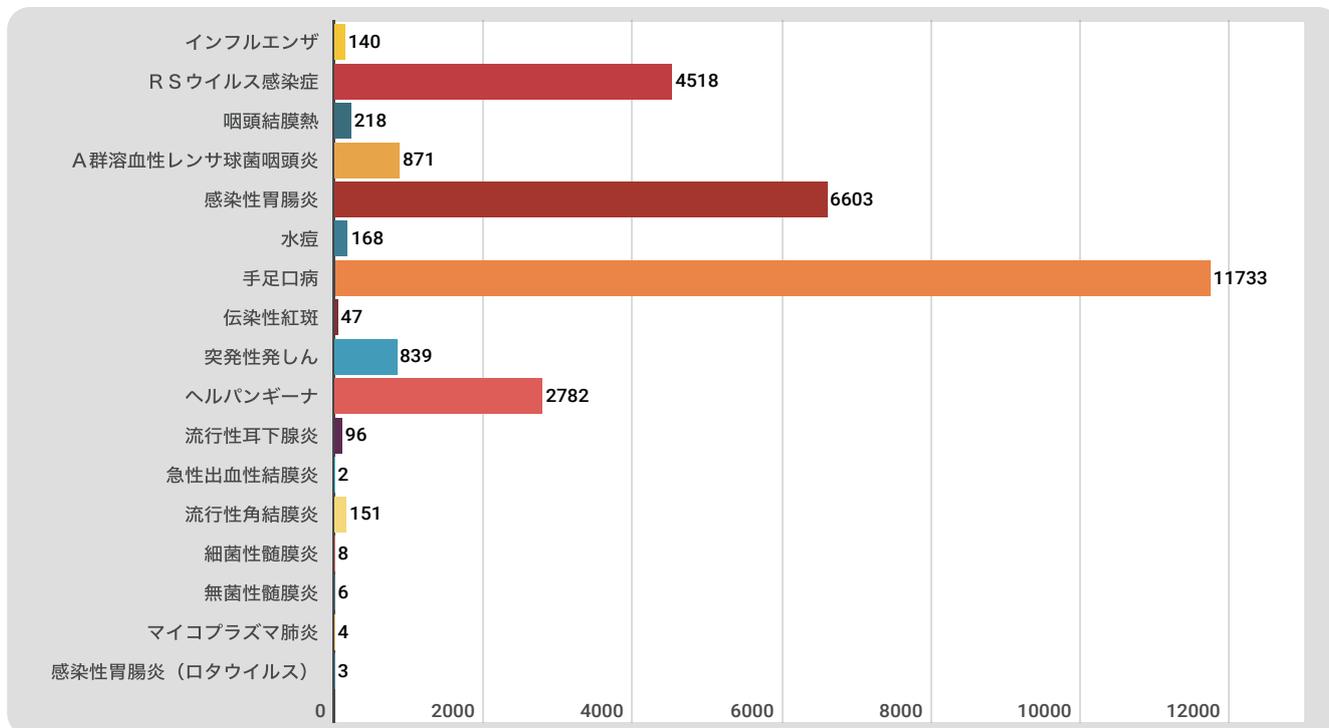


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査 週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

小児感染症の増加に警戒を！



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

8月29日～9月4日は定点把握疾患のうち手足口病の報告数が最も多く、1万1,733例であった。続いて感染性胃腸炎が6,603例、RSウイルス感染症が4,518例の順であった。手足口病は、前週比1,336例増で前週(2,001例増)から増加幅は縮小したが、2週連続で1万例を超えた。定点当たりの報告数も山形県(17.52)および宮城県(10.48)が2桁台となり、警報開始基準値(5.00)超えは前週の7都道県から10都道県へと拡大した。ヘルパンギーナも2,782例と増加傾向(前々週(1,556例)、前週(2,782例))にあり、山形県は定点当たりの報告数が9.14で警報開始基準値(6.00)を超え、小児がかかりやすい感染症に警戒が必要である。感染性胃腸炎は前週比590例増で前週(835例増)より増加幅の拡大はないものの、引き続き増加傾向にある。RSウイルス感染症は前週比645例増と前週(176例減)から増加に転じた。新型コロナウイルス感染症は5万2,897例/日で前週(6万8,019/日)から約1万5,000例減少した。1週間平均も9万7,271例と3週連続で減少したが、高止まり状況にある。引き続き、他感染症との同時感染に注意したい。

※2021年同週の上位3位は、感染性胃腸炎6,883例、RSウイルス感染症5,899例、手足口病1,836例

●**手足口病**：前週(1万397例)から1,336例増加した。報告数が多かったのは、2週連続で東京都1,439例、神奈川県1,188例、北海道896例の順であった。定点当たりの報告数(3.74)は、山形県が17.52、宮城県が10.48、福島県が7.52、北海道が6.40、静岡県が6.31、長野県が5.98、東京都が5.58、神奈川県が5.40、埼玉県が5.33、秋田県が5.21と10都道県で警報開始基準値を超えており、依然として関東以北の報告数が多い。

●**感染性胃腸炎**：前週(6,013例)から590例増加した。報告数が多かったのは、東京都570例、神奈川県443例、埼玉県438例の順であった。定点当たりの報告数(2.10)は、大分県が5.78、宮崎県が3.94、島根県が3.70、熊本県が3.34、福井県が3.30、愛媛県が3.24、福岡県が3.16、石川県が3.14と続いた。

●**RSウイルス感染症**：前週(3,873例)から645例増加した。報告数が多かったのは、東京都477例、大阪府419例、兵庫県283例の順であった。定点当たりの報告数(1.44)は、山口県が4.44、徳島県が3.74、香川県が2.93、愛媛県が2.65、三重県が2.64、大分県が2.58、佐賀県が2.43、和歌山県が2.20、兵庫県が2.19、大阪府が2.13、栃木県が2.06、福井県が2.00と続いた。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)情報

厚生労働省が公表している「国内発生状況」によると、9月12日の新規陽性者数は5万2,897例であった。